

令和3年度

# 施政方針

濱田剛史市長は、令和3年度の市政運営の方針や重点施策などをまとめた施政方針大綱を発表しました。

濱田市長は、新型コロナウイルスの影響で不安な生活を送る市民、事業者の支援や市内経済の回復に全力で取り組み、輝く未来の創生に向け、重点施策を着実に推進していくと述べました。

今号では施政方針大綱の概要をお知らせします。

なお、施政方針大綱の全文は、行政資料コーナー（市役所本館1階）で閲覧できるほか、市ホームページに掲載しています。

## 長期化する新型コロナ 市内経済の回復に全力

### 社会の変革を新たな契機に 行政サービスの利便性を高める

昨年、新型コロナウイルスの感染が全世界に拡大し、本市においても事業者の経済活動が停滞するなど、深刻な影響が及んでいます。

市では、他市に先駆け、高齢者の命を徹底的に守る「新型コロナウイルス防衛アクション」の実践を周知・啓発して感染拡大防止に努めるとともに、市民、事業者に寄り添った支援施策を展開してきました。特に、全国でも類を見ないプレミアム率150%の商品券は、多くの市民、事業者から高い評価をいただきました。令和3年度にも、総額16億円となる第2弾のプレミアム付商品券の発行をはじめ、水道料金の減額など、引き続き支援を行います。またワクチン接種については国・府と連携を図りながら、着実に実施してまいります。

展、そして輝く未来を創生するため、重点施策を着実に進めていきます。

また、新型コロナウイルスによる社会の変革を新たな契機と前向きに捉え、行政分野のデジタル化を推進し、利便性の高い行政サービスの提供など将来を見据えた取り組みを推進していきます。

### 将来の飛躍に向けまい進した10年 輝く未来の創生のため全身全霊を

私が市長に就任して、まもなく10年を迎えます。就任以降、あらゆる世代の市民が安心して暮らせるよう、市民福祉の向上に取り組みとともに、幼児教育・保育の無償化を国に先駆けて取り組むなど、子育て支援・教育環境の充実を図ってきました。また安満遺跡公園の整備、JR高槻駅でのホーム拡充・特急列車の停車実現などビッグプロジェクトにも精力的に取り組んでまいり、将来の飛躍につながるま

ちづくりにまい進してきました。

令和3年度は、少子高齢化に伴う収入減や社会保障関係費の支出増に加え、新型コロナウイルスの影響による市税収入の大幅な減少が見込まれ、極めて厳しい財政運営が想定されます。財政の健全性を維持するために「みらいのための経営革新」に向けた改革方針を着実に進め、輝く未来の創生のため、全身全霊を傾け、取り組んでいきます。

まちづくりの3つの柱を積極的に推進していきます。

- 強靱なまちづくり
- 富田地区のまちづくり
- 高槻の歴史を継承するまちづくり

## 重点 施策

### 1. 都市機能が充実し、快適に暮らせるまち



整備が進む高槻インターチェンジ周辺の成合南地区

- 高槻インターチェンジ周辺において宅地造成や道路・公園整備などを行う成合南地区区画整理組合を支援
- 「多世代が共に育む まちづくり」をコンセプトに、富田地区のまちづくり基本構想を策定

地域公共交通の在り方を示す計画の策定に向けた取り組みに着手

「水道事業基本計画」に基づく取り組みを推進

水道料金の基本料金を減額（2か月間半額）



- 公共施設のブロック塀を計画的に撤去、民間所有ブロック塀の撤去を支援
- JR高槻駅北駅前広場の整備を推進（バスロータリーの改良、エスカレーターを設置など）
- 大手八幡線などの無電柱化を推進（芸術文化劇場へのアクセス道路）

### 2. 安全で安心して暮らせるまち



地域住民主体の避難訓練

- 「国土強靱化地域計画」に基づく施策を推進
- 「総合雨水対策アクションプラン」に基づき施設整備を推進（JR高槻駅北駅前広場「雨水貯留施設」工事着手、芝生小学校「雨水流出抑制施設」整備）
- 市民避難訓練の実施および安満遺跡公園での地域防災総合訓練の実施

新は新規施策、拡は拡充施策

- 水害・土砂災害ハザードマップの改訂版を全戸に配布
- 中消防署富田分署の建て替え、多機能型消防団等訓練施設の整備に向けた設計を実施
- 街頭防犯カメラの増設（400台）および通学路防犯カメラの更新（410台）、自治会などが設置する防犯カメラへの設置補助を拡充
- 特殊詐欺など被害の未然防止の取り組みを推進



特殊詐欺被害防止の啓発

児童生徒一人1台のタブレット端末を整備



■第三中学校区でセーフティプロモーションスクール(SPS)認証取得を推進

■小・中学校における空調設備の設置・更新を推進  
(特別教室への設置、既存機器の更新)

■英語教育を充実  
(ALTの全中学校区への配置など)

■GIGAスクール構想の下、タブレット端末を効果的に活用した教育を推進

■中学校での35人学級編制の開始に向けた取り組みを推進  
(令和4年度から1年生、令和5年度から全学年で開始)

■本市初の義務教育学校(施設一体型小中一貫校)の設置を第四中学校区で検討

■コミュニティ・スクールの導入に向けた取り組みを推進

■教育相談専用ダイヤルの設置により、相談支援機能を充実



地域と連携した学校づくり

### 3. 子育て・教育の環境が整ったまち

■市内の認可保育施設などで従事する保育士などの奨学金返済を支援する制度を創設

■子ども医療費助成を18歳まで実施

■送迎保育ステーション事業を開始



子どもの健やかな成長を見守る

■不妊に悩む人への特定治療支援事業の助成額や回数などを拡充

### 5. 魅力にあふれ、にぎわいと活力のあるまち

■観光協会や商工会議所と連携し、「オープンたかつき」を実施

■広域的な観光プロモーション「BOTTO たかつき」を推進



市のPRアニメーション



■芥川山城跡の国史跡指定に向けた取り組みを推進

■戦略的かつ効果的な定住促進プロモーションを実施

■全面開園する安満遺跡公園で、さまざまなイベント・プログラムなどを展開

■芸術文化劇場と調和を図りながら、高槻城公園の整備を推進

■市独自のプレミアム付商品券(第2弾)を発行

■新型コロナウイルスの影響を受ける事業者への融資相談体制を強化

■商業団体に対する支援を拡充

(新型コロナウイルス感染防止対策を支援)



昨年発行した商品券「地元のお店応援券」



山頂(本丸)付近

三好山(芥川山城跡)



安満遺跡公園

### 4. 健やかに暮らし、ともに支えあうまち

■新型コロナウイルス感染症への対応  
ワクチン接種・感染予防対策を実施、地域医療体制の構築を推進



■「新型コロナ防衛アクション」の積極的な周知・啓発

■がんの無料検診や効果的な個別受診勧奨を実施  
■子宮頸がん検診において、液化化検体細胞診法(LBC法)を導入

■三島救命救急センターの大阪医科薬科大学病院への移転に向けた取り組みを推進  
(令和4年度移転予定)

■高槻島本夜間休日応急診療所の弁天駐車場敷地への移転に向けた取り組みを推進  
(令和5年度移転予定)



入館時、利用申込書に記入

■介護予防活動を推進するため、老人福祉センターを改修

■市営バス高齢者割引乗車制度を開始



現在の、高槻島本夜間休日応急診療所・三島救命救急センター

新は新規施策、拡は拡充施策

# 今こそ「結束」を図るとき 寛容な態度で理解しあえるまちに

■ 昨年は、経済状況が良好とは言えない中で、さらに、新型コロナウイルスの感染拡大による社会構造の急速な変化が追い打ちをかけるように社会全体を覆い、市民の生活などに多大な悪影響が生じた一年でした。

■ その中でも、特に顕著に表れたのが、国民・市民の「分断」を助長する社会的風潮ではなかったかと考えます。

■ 個々人の行動の違いを理由とするものや政治的信条の違いを理由とするもの、企業規模の違いを理由にするもの、世代の違いによるものなど、さまざまな理由を口実とした市民の分断が生じつつあるのではないかと憂慮する一年でありました。

■ このような社会的風潮が生じている要因はさまざまなものがありますが、その大きな原因の一つは、言うまでもなく、新型コロナウイルスの感染拡大によるもので

■ あり、それに伴う社会の変化によって市民それぞれが大きな負担を感じていることが影響していると思われまます。

■ 私は、このような分断を助長する社会的風潮を厳に警戒すべきであると強く感じるとともに、今一度、認識すべきは、市民同士の「結束」の大切さであると考えます。

■ 新型コロナウイルス感染症という目に見えない相手との戦いを余儀なくされている今、より一層、市民同士の結束を図らなければなりません。

■ そして、市民の結束を図るべく、極めて重要な役割を担っているのが行政であり、私は、今、まさに、行政の真価が問われていると強く認識をしています。

■ いやしくも公正・公平を旨とする行政は、市民同士の分断を助長してはならないことはもちろん、さらに、市民同士の結束を図るた



施政方針大綱を表明する濱田剛史市長(3月1日)

■ む市民としての誇りと喜びを改めて共有し、市民が互いに寛容な態度で理解し合つことができれば、市民の結束は揺るぎないものとなるはず。

■ この思いを胸に、市政運営に全力で取り組んでまいりますので、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

高槻市長 濱田 剛史

■ めの努力を惜しんではならないとの決意を新たにしたところです。

■ そのために必要なことは、まずは、行政として市民の皆さんに寄り添い、市民の皆さんの安心感、行政への信頼感の醸成を図るとともに、今、改めて「高槻に住んで良かった」と実感していただける施策を展開することだと確信しています。

■ 市民の皆さんが、共に高槻に住

## 6. 良好な環境が形成されるまち

- 「第2期たかつき地球温暖化対策アクションプラン」に基づく取り組みを推進
- エネルギーセンターにおける取り組みを推進(第一工場の解体と跡地でのリサイクル施設整備、第三工場の高効率なごみ焼却発電)



## 7. 地域に元気があって市民生活が充実したまち



高槻城公園 芸術文化劇場(イメージ)

- 高槻城公園 芸術文化劇場の整備を推進(建設工事、プレイベントの実施など)
- 「第2期文化振興ビジョン」に基づく施策を推進



第70期王将戦七番勝負第2局

- 将棋文化を振興(タイトル戦開催、子ども将棋教室の運営支援など)



商業施設などで、マイナンバーカードの申請を受け付け

- マイナンバーカードの普及を促進
- 「第2期スポーツ推進計画」に基づく施策を推進
- 総合スポーツセンター総合体育館2階の小体育室1・2に冷房機器を設置

## 8. 効果的・効率的な行財政運営が行われているまち

- 「第6次総合計画」に基づき8つの将来都市像実現に向けた施策を推進

- 新 市税および国民健康保険料のキャッシュレス決済を導入
- 拡 市ホームページをリニューアルし、発信力を高め、市民の利便性を向上

新は新規施策、拡は拡充施策